

2015年9月16日

住商ファーマインターナショナル株式会社

ビジネスサイトツアーを開催いたしました。

8月28日に、住友商事広報部主催による、ビジネスサイトツアーを開催しました。

本サイトツアーは、メディア関係者を対象に、医薬ビジネスの現場を見て、当社の事業を理解していただくことを目的に実施しました。

2015年は、8社9名の記者に参加いただきました。

まず本社にて、住友商事の中村メディカルサイエンス部長、及び、当社社長の寺脇良樹が「医薬ビジネス」の説明を行いました。

社長の寺脇は、50年以上にわたる医薬ビジネスの経験と、経験豊富なスタッフによる幅広いサービスについて説明しました。

説明後は活発な質疑応答が交わされました。

横浜サポートセンターでは、「イメージング機器」のデモや修理、メンテナンス、機器を用いたアプリケーション相談等、お客様へのトータルサポートを行っております。

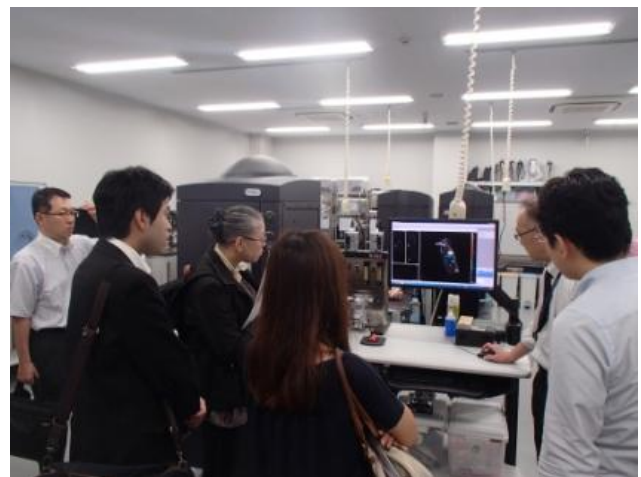
癌・再生医療・感染症研究・薬剤探索ツール等、生命科学分野の発展はめざましく、研究分野において研究機器の果たす役割は非常に大きなものになっております。

当社はそれらの要望に応える最先端技術を用いた「イメージング機器」を取り扱っております。

サイトツアーでは、「イメージング機器」によるデモの見学、横浜サポートセンターの説明を行いました。



「医薬ビジネス」の説明を熱心に聞く記者



デモを見て、機器の説明を受けます
写真の機器は、IVIS Spectrum CT
(横浜サポートセンター)

原薬分析センターでは、試験室を備えた試験検査機関として、多くの検査機器を有し、輸入原薬の品質管理、出荷判定試験、規格・試験方法の設定などを行っております。

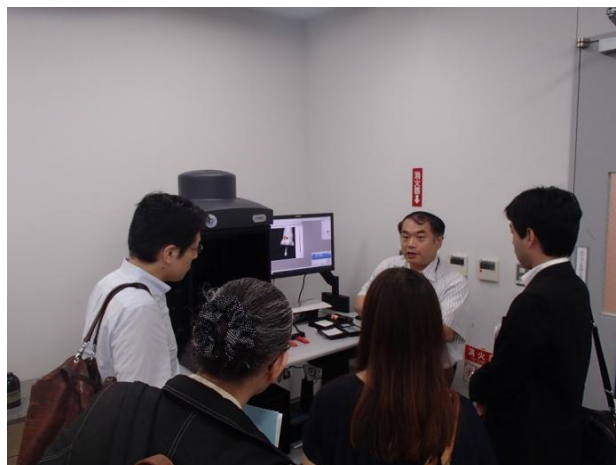
政府によるジェネリック医薬品の使用促進により、後発薬製造販売各社へのより安価で信頼性の高い原薬供給が重要になっております。

当社では、原薬分析センターでの分析を通じ、適正な原薬の選定、原薬の規格及び試験方法の確立が可能です。

サイトツアーでは、原薬分析試験の見学と、原薬分析センターの説明を行いました。

今回サイトツアーに参加した記者からは、「商社として分析センターを抱えている点に興味を持った」、「大変おもしろく勉強になった」、「今後の取材の下地として役立つ経験となった」との感想をいただき、好評を得ました。

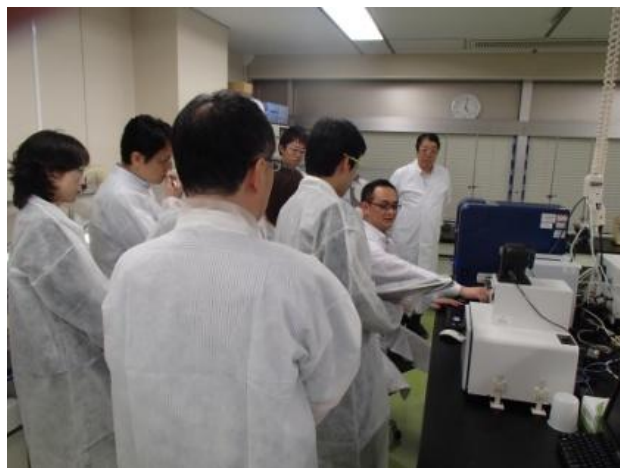
今後も、当社の理解を深めてもらえるよう、積極的に研究施設を公開して参ります。



光イメージング装置により癌領域を模擬的に検出写真の機器は、IVIS Lumina Series III
(横浜サポートセンター)



分析試験操作と試験施設の見学を行いました
(原薬分析センター)



37 種もの測定装置が設置されています
(原薬分析センター)